

官報

號外 昭和七年六月十二日

○第六十二回 貴族院議事速記録第七號

昭和七年六月十一日(土曜日)午前十時七分開議

議事日程 第七號

昭和七年六月十一日

午前十時開議

- 第一 關稅定率法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第二 輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第三 遠洋漁業獎勵法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第四 造幣局資金拂出ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第五 市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ特例ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

昨日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
關稅定率法中改正法律案
輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案
遠洋漁業獎勵法中改正法律案
造幣局資金拂出ニ關スル法律案

關稅定率法中改正法律案
關稅定率法別表輸入稅表中左ノ通改正ス
第十六號中「二・五〇」ヲ「二・五〇」ニ改ム
第十八號ヲ左ノ如ク改ム
一八 高粱

官報號外 昭和七年六月十二日 貴族院議事速記録第七號 議長ノ報告 關稅定率法中改正法律案外二件 第一讀會

同日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル國幣小社度津神社ノ改築ニ關スル請願外八件ノ請願ハ各、意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ特例ニ關スル法律案可決報告書
請願委員會特別報告第二號

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ
第六十二回帝國議會大藏省所管事務政府委員
大藏書記官 青木 一男君

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、關稅定率法中改正法律案、第二、輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案、第三、遠洋漁業獎勵法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、高橋大藏大臣

關稅定率法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和七年六月十日
衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵徳川家達殿

每百斤 一・〇〇

第十九號中「〇・三〇」ヲ「一・七〇」ニ改ム

第二十二號第一項中「二・九〇」ヲ「四・三〇」ニ改ム

第五十三號中「三・六・九〇」ヲ「五〇・〇〇」ニ改ム

第五十五號第一項中「一・三・四〇」ヲ「二・五〇〇」ニ改ム、第二項中「八・三〇」ヲ「一・五七〇」ニ改ム

第一百十四號ヲ左ノ如ク改ム
一 一四 巴拉フィン

一 融解點攝氏四十五度ヲ超エサルモノ
甲 頁岩油ヨリ分餾シタルモノニシテ粗製
ノモノ

乙 其ノ他

第一百四十九號ヲ左ノ如ク改ム

一四九 黃磷、赤磷及硫化磷

第一百七十六號ヲ左ノ如ク改ム

一七六 クロール酸加里

第二百五十五號中「一・九五」ヲ「三・四〇」ニ改ム

第二百五十九號ヲ左ノ如ク改ム

二五九 ビッチ及アスファルト

第二百五十九號ノ二ヲ左ノ如ク改ム

二五九ノ二 コールタール、ビッチ又ハアスファルトノ製品
ニシテ道路修築用ノモノ

第四百十八號第二項中「八・二五」ヲ「二・五〇〇」ニ改ム

同號第三項ヲ左ノ如ク改ム

三板

甲 護謨入ノモノ

乙 其ノ他

同號第四項中「一・八八〇」ヲ「三・〇〇〇」ニ改ム

第四百六十二號第一項甲中「〇・一〇」ヲ「〇・三六」ニ改ム、第四項中「從價」ヲ「每百斤」ニ改ム

「一割八分」ヲ「一・三〇」ニ改ム、第六項中「一割八分」ヲ「二割五分」ニ改ム、第七項中「五分」ヲ「二割五分」ニ改ム、第十二項中「二割」ヲ「二割五分」ニ改ム

第四百六十三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

四六三ノ二 マグネシウム

第四百九十九號第二項丙ヲ左ノ如ク改ム

其ノ他

ロノ一 安全剃刀用ノ刃
ロノ二 其ノ他

每百斤 四九・五〇

每百箇 一・〇〇
從價 三割五分

第五百二十號ヲ左ノ如ク改ム

五二〇 貨幣(金銀貨幣以外ノ貨幣ニシテ本邦通貨ニ非サルモノハ分類上之ヲ地金ト看做ス)

第五百二十七號第八項乙ヲ左ノ如ク改ム

乙 其ノ他

イ 地板	每百箇	一九五〇
ロ 調整輪	每百箇	一八〇〇
ハ 制動杆	每百箇	一四一〇
ニ 受板	每百箇	一〇五〇
ホ 撥條匣	每百箇	八〇〇
ヘ 其ノ他(機械用ノ石ヲ除ク)	從價	三割

第五百四十九號ヲ左ノ如ク改ム

五四九 醫療器、オソソベヂックインストルメント及同部分品(別號ニ掲ケサルモノ)

一 陶齒

甲 金屬製ノ釘ヲ用キタルモノ	每百箇	一一七〇
イ 貴金屬ヲ用キタルモノ	每百箇	二〇〇〇
ロ 其ノ他	從價	二割
乙 其ノ他	從價	五割

第五百六十四號中「三割」ヲ「四割二分」ニ改ム

第五百七十七號ヲ左ノ如ク改ム

五七七 內燃機關

一 自動車用ノモノ及自轉車用ノモノ	從價	三割五分
二 其ノ他		
甲 一箇ノ重量百キログラムヲ超エサルモノ	每百斤	三〇〇〇
乙 一箇ノ重量二百五十キログラムヲ超エサルモノ	每百斤	二〇〇〇
丙 一箇ノ重量千キログラムヲ超エサルモノ	每百斤	一七七〇
丁 一箇ノ重量二千五百キログラムヲ超エサルモノ	每百斤	一七〇〇
戊 一箇ノ重量一萬キログラムヲ超エサルモノ	每百斤	一四七〇
己 一箇ノ重量五萬キログラムヲ超エサルモノ	每百斤	一三七〇
庚 其ノ他	從價	二割

第六百五號第二項甲ノ二ホ中「從價」ヲ「每百斤」ニ、「一割五分」ヲ「二六〇」ニ、第十項中「二・三〇」ヲ「三五・一〇」ニ改ム

第六百十二號第一項己ノ五中「四・五五」ヲ「六・九〇」ニ、「三・九〇」ヲ「五・六〇」ニ、「一〇」ヲ「三四〇」ニ、「一・二〇」ヲ「二・五〇」ニ改ム

第六百三十二號ノ二中「從價」ヲ「每百斤」ニ、「二割」ヲ「五六〇〇」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和七年六月十日
衆議院議長 秋田 清
貴族院議長 公爵徳川家達殿

輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案
關稅定率法別表輸入稅率ニ定メタル從量

稅率ハ當分ノ内之ヲ其ノ百分ノ百三十五トス但シ同輸入稅率ニ掲グル物品ニシテ本法ノ別表ニ掲グルモノノ從量稅率ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ規定ニ依ル從量稅率ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

輸入稅番號	品名
一六	小麥
一八	高粱
一九	玉蜀黍
二二	澱粉及澱粉類
一	小麥粉
五三	バター、人造バター及ギ
五五	コンデンストミルク
一一四	パラフィン

一 融解點攝氏四十五度ヲ超エサルモノ
乙 其ノ他

一四九 黃磷、赤磷及硫化磷
一七六 クロール酸加里
二五五 カーボンブラック
二五九 ビッチ及アスファルト
二五九ノ二 コールタール、ビッチ又ハアスファルトノ製品ニシテ道路修築用ノモノ
三六二 印刷料紙
二 其ノ他

四一八 石絨及別號ニ掲ケサル石絨製品
二 絲
三板
甲 護謨入ノモノ

四六二 鐵(別號ニ掲ケタル特殊鋼ヲ除ク)

一 塊及錠
甲 銑鐵

四 ワイヤロッド(巻キタルモノ)

四六三ノ二 マグネシウム

四九九 双物(別號ニ掲ケサルモノ)

二 其ノ他

丙 剃刀

ロ 其ノ他

ロノ一 安全剃刀用ノ双

五二七 懷中時計部分品

八 其ノ他

乙 其ノ他

イ 地板

ロ 調整輪

ハ 制動杆

ニ 受板

ホ 撥條匣

五四九 醫療器、オースンベチックインストルメント及同部分品(別號ニ掲ケサルモノ)

一 陶磁

甲 金屬製ノ釘ヲ用キタルモノ

六〇五 機械部分品(別號ニ掲ケサルモノ)

二 ロール及ローラー

甲 鐵製ノモノ

甲ノ二 其ノ他

ホ 其ノ他

十 箆(金屬製ノモノ)

六二二 木材

一 單ニ切り、挽キ又ハ割リタルモノ

己ノ五 其ノ他(下グラスファー等)

イ 厚六十ミリメートルヲ超エサルモノ

ロ 厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ

ハ 厚二百ミリメートルヲ超エタルモノ

ニ 丸太及割材

ニノ二 其ノ他

六三二ノ二 屑及故ノセリユロイド(改造用ノミニ適スルモノ)

遠洋漁業獎勵法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和七年六月十日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長 公爵徳川家達殿

遠洋漁業獎勵法中改正法律案

遠洋漁業獎勵法中左ノ通改正ス

第一條 政府ハ遠洋漁業ヲ獎勵スル爲毎
年豫算ヲ以テ定ムル金額ノ範圍内ニ於
テ獎勵金ヲ下付シ其ノ他必要ナル費用
ヲ支出ス

第三條中「定ムル構造ニ」ヲ削ル

第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

主務大臣ハ遠洋漁船検査規程ニ適合シ
タル日本船舶ヲ新造シ又ハ遠洋漁船檢
査規程ニ適合シタル日本船舶ニ命令ヲ
以テ定ムル設備ヲ施シタル船舶所有者
ニ對シ左ノ區別ニ從ヒ漁船獎勵金ヲ下
付スルコトヲ得但シ計畫總噸數百噸以
上ノ鋼製ノ船舶ニ在リテハ第一號ノ規
程ニ拘ラズ船舶ノ評價額ノ百分ノ二十
以內ノ漁船獎勵金ヲ下付スルコトヲ
得

一 船舶 評價額ノ百分ノ十五以內

二 設備 評價額ノ百分ノ三十以內

同條第三項中「保護設備、無線電信裝置、
無線電話裝置及副漁具」ヲ「第一項ノ設
備」ニ改ム

第十一條第二項中「遠洋漁船船員」ヲ「遠
洋漁船ノ船員若ハ船匠」ニ改ム

第二十一條中「大正二十二年三月三十一
日迄」ヲ「昭和二十二年三月三十一日迄」
ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前獎勵金下付ノ指令ヲ受ケタル
者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリ
マシタ關稅定率法中ノ改正法律案ノ説明ヲ
致シマス、政府ハ改正法律案ニ掲ゲラレテ
居リマス各物品ニ關スル輸入稅改正ノ
要否ニ付キマシテ、曩ニ關稅調查委員會ニ
諮問ヲ致シマシタ所、成案ヲ得マシタノデ
茲ニ本改正法律案ヲ提出イタシマシタ次第
デアリマス、改正案ノ品目ハ小麦、銑鐵等
二十九品デアリマシテ、輸入稅表中二十四
ノ項目ニ關係シ、部分的改正トシテハ相當
廣範圍ニ互テ居リマス、政府ハ是等物品ノ
生産輸入及需給等ノ狀況ニ鑑ミテ、現行稅
率ハ現在ノ實情ニ適セザルモノト認メマシ
テ、大體ニ於テ其輸入ヲ相當抑制シテ、以
テ内地産業ヲ保護スル目的ヲ本改正法律案
ヲ提出イタシタ次第デアリマス、詳細ナル
點ニ付キマシテハ委員會ニ於テ説明ヲ致ス
考ヘデアリマス、御審議ノ上速ニ御協贊ヲ
與ヘラレムコトヲ希望スル次第デアリマス、
又輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案ニ付テ
説明ヲ致シマス、政府ハ外國爲替相場ノ現
狀ニ鑑ミマシテ、從量稅率ニ關シ考慮ヲ拂
フノ必要アリヤ否ヤ、茲ニ之ニ關スル具體
案ニ付キマシテ、曩ニ關稅調查委員會ニ諮
問イタシマシタ所、其成案ヲ得マシタノデ
茲ニ本法律案ヲ提出イタシマシタ次第デゴ
ザイマス、御承知ノ通り從來我國ノ輸入稅
表ニ於テハ、從價稅率ト從量稅率トガ併セ
用ヒラレテ居リマス、現行ノ稅ニ於テハ其
稅率ノ大部分ハ從量稅率ニナリテ居ルノデ
アリマス、然ルニ外國爲替相場ノ現狀ニ鑑
ミマス、輸入品ノ價格ハ騰貴ヲ免レナイ

狀態ニアリマスガ、斯ノ如キ狀態ノ下ニ於テハ、輸入品ノ價格ニ對スル關係上、從價稅率ト從量稅率トハソレゾレ趣ヲ異ニスル點ガ著シク現ハレテ來タノデアリマス、依テ右ノ關係ヲ調節スル爲ニ此際應急ノ處置トシテ、從量稅率ヲ增加スルノガ適當デアルト認メマス、而シテ其增加ノ程度ハ、外國爲替相場ノ狀況等ヲ斟酌シテ、三割五分ヲ相當ト認メタ次第デアリマス、次ニ本法律案ト關稅定率法中改正法律案トノ關係デアリマスガ、關稅定率法中改正法律案ノ方ハ之ニ依テ輸入稅表ニ定メテアリマス稅表中、其適當デアリト認メタモノニ付テ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマシテ、是等ノ改正稅率ニ付テハ既ニ右ノ調節ノ關係ヲモ考慮ニ入レテ居ルノデアリマスカラ、其中ノ從量稅率ハ本法律案ニ依ル稅率增加ノ範圍外ニ置イタノデアリマス、尙ホ右ノ外新聞用紙ノ稅率ハ、文化ノ普及上等ヨリ見テ特別ニ取扱フベキ理由ガアリト認メマシテ、特ニ例外ノ中ニ加ヘマシタ、其他詳細ナルコトニ付キマシテハ、委員會ニ於テ御説明ヲ致ス考ヘデアリマス、御審議ノ上速ニ御協贊アラムコトヲ希望イタス次第デアリマス

〔國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(後藤文夫君) 遠洋漁業獎勵法中改正法律案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、遠洋漁業獎勵法ハ明治三十年三月制定以來茲ニ三十餘年、其間時勢ノ推移ニ順應イタシマシテ必要ナ改正ヲ行フテ參リマシテ、其改正ノ回数モ前後七回ニ及ビマシテ、常ニ新ナル内容ヲ以テ遠洋漁業發達ノ根幹ヲ爲シテ參リタノデアリマス、我國遠洋漁業ハ本法ニ依ル獎勵ノ下ニ今日ノ狀況ヲ見ルニ至ラタ次第デアリマスガ、併ナガラ我國

遠洋漁業ノ將來ニ付テ考ヘマス、天與ノ地理的環境カラ見マシテモ、尙ホ未ダ其發達ノ途上ニアルモノト申サナケレバナリマセヌ、就中我國漁業ノ中樞ヲ爲シテ居リマスル發動機船漁業ヲシテ、現在ノ漁場ノ範圍ヲ數倍ニ擴大ラシテ、南北太平洋ノ洋上ニ馳驅操業セシメ、以テ將來漁船ノ増加ト漁獲高ノ増大ヲ期シマスルト共ニ、行詰テ居リマスル沿岸漁場ノ調節ヲ圖ルノ必要ガ極メテ痛切ナ次第デアリマス、然ルニ本法ハ其效力ガ昭和七年度ヲ以テ終了スルコトト相成テ居リマス、斯ノ如キ我國遠洋漁業ノ狀態ニ鑑ミマシテハ、本法ノ效力ヲ尙ホ存續サセマシテ、同時ニ遠洋漁業及漁船ノ進展、變遷ニ應ジテ必要ナ改正ヲ加ヘタイト存ズルノデアリマス、即チ今回ノ改正ノ主要ナル點ヲ申シマスレバ、本法ノ施行期間ヲ十五箇年延長イタシマスルノト、更ニ普通ノ漁船獎勵金ノ下付ニ付テハ、獎勵金額ノ算出ノ方法ヲ全體ニ單純化イタシマシテ、船舶ノ評價額ノ百分ノ十五以內ト改メマシテ、尙ホ獎勵金ヲ下付シ得ル設備ノ種類ニ付キマシテハ、從來法律ノ中ニ規定シテアリマシタノ事實ニ應ジテ加除シ得ルヤウ命令ヲ以テ定ムルコトト致シマシタ、尙ホ又公共團體其他ノ營利ヲ目的トシナイ法人ノ行フ遠洋漁業船員ノ養成ノ外ニ、新ニ船大工ノ養成ニ要スル經費ノ全部、又ハ一部ヲ下付シ得ルノ途ヲ開ク等ノ、諸點ノ改正ヲ行ハムトシマスル譯デアリマス、斯様ナ次第遠洋漁業獎勵法中改正法律案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、宜シク御審議ノ上御協贊ヲ切望スル次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 尙ホ質問ノ初メニ一點御難メヲ致シテ置キタイコトゴザイマス、今日ノ新聞ニ依リマスルト關稅法ニ付キマシテ、衆議院ニ於キマシテ希望決議ガアツト云フコトヲ承知イタシマシタ、又ソレニ付テ政府ガ或聲明ヲセラレタト云フコトゴザイマス、兩方共ニ二項ニナツテ居リマシテ、時間ヲ省ク爲ニ朗讀ハ致シマセヌガ、其希望決議ノ趣旨ニ付キマシテハ、政府ニ於テ之ヲ認容セラレタモノデアリヤ否ヤ、又政府ガ聲明サレタト云フコトハ事實デアリヤ否ヤ、其點ヲ豫メ御確メヲ致シテ置キマス

〔國務大臣男爵中島久萬吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 只今大河内子爵カラ昨日衆議院ニ於ケル關稅定率法中改正法律案ノ委員會ニ於キマシテ、私共ガ政府ヲ代表イタシマシテ聲明ヲ致シマシタコトノ事實如何ノ御尋デゴザイマシタ、事實デゴザイマス、聲明ヲ致シタコトハ事實デゴザイマス、且ツ聲明イタシタ以上之ヲ認容スルコトモ當然ノコトデアリマス

○子爵大河内輝耕君 決議ノ方ハ如何デゴザイマス、サウ云フ決議ノ趣旨ヲ政府ガ認容サレテ居ルカドウカ……

〔國務大臣男爵中島久萬吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 認容イタシテ居リマスコトモ事實デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 質問ヲ續ケタイト思ヒマスカラ登壇イタシマス

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内輝耕君 尙ホ質問ハ純然タル事務的ノ質問デゴザイマス、毫モ政治的ノ意味ハ含ンデ居リマセヌ、從ヒマシテ此案ニ付キマシテモ全然白紙ノ態度デゴザイマ

シテ、唯分ラナイ所ヲ御確メスルト云フニ過ギマセヌ、豫メ之ヲ申上ゲテ置キマス、尙ホ此問題ニ付キマシテハ其途ノ權威者ガ、私ノ後ニ御立チニナリマシテ御質問ニナルト云フコトデゴザイマシテ、實ハ止メヤウカト存ジマシタケレドモ、マア豫備質問トシテ何カノ御役ニ立テバト存ジマシテ、ヤレト仰シヤル方モゴザイマシテ立チマシタ次第デゴザイマス、其御積リデ御聽取リヲ願ヒタイト思ヒマス、又此問題ハ世間デヤカマシウゴザイマシテ財關云々、財關ノ保護デアルト云フコトヲ頻リニ申サレテ居ル、併シハ言フ者ハ言フ者、言フ者ハ言フ者デ私ハソノ考ヘハ更ニナイ、今日ノ狀態デ大資本家ガ此經濟界ニ必要デアルト云フコトハ勿論ノコトナラデス、之ヲ財關トカ何トカ言フノガ既ニ間違テ居ル、關稅ヲ立案スルニシマシテモ、國家ノ立場カラ立案セラレタノデアリマスガ、偶然ニ所謂資本家ノ利益ニナツテ行カウガ何デアラウガ、サウ云フコトハ眼中ニナイ譯デアリマス、斯ウ云フコトモ豫メ御斷リ致シテ置キマス、ソレデ御尋ヲ申上ゲタイト存ジマスノデゴザイマスガ、昨日ノ衆議院ノ希望決議ニ依リマシテ、是ハ商工大臣デモ農林大臣デモ、ドチラデモ宜シイノデアリマス、昨日ノ衆議院ノ希望決議ニ依リマシテ、三割五分ノ從量稅ノ増徴ニ付キマシテハ、將來何分ノ考慮ヲスル、アレハアノ儘デア置カナイノダト云フコトガ希望決議トシテ出マシテ、政府モ其趣旨ヲ認容セラレタト云フコトヲ只今承ハタノデアリマスガ、其趣意ハソレハ能ク分リマセヌガ、研究スル暇モゴザイマセヌガ、色ニナ趣意カラ來テ居ルダラウト思ヒマスガ、其一ツトシテハ、マダ

シテ、唯分ラナイ所ヲ御確メスルト云フニ過ギマセヌ、豫メ之ヲ申上ゲテ置キマス、尙ホ此問題ニ付キマシテハ其途ノ權威者ガ、私ノ後ニ御立チニナリマシテ御質問ニナルト云フコトデゴザイマシテ、實ハ止メヤウカト存ジマシタケレドモ、マア豫備質問トシテ何カノ御役ニ立テバト存ジマシテ、ヤレト仰シヤル方モゴザイマシテ立チマシタ次第デゴザイマス、其御積リデ御聽取リヲ願ヒタイト思ヒマス、又此問題ハ世間デヤカマシウゴザイマシテ財關云々、財關ノ保護デアルト云フコトヲ頻リニ申サレテ居ル、併シハ言フ者ハ言フ者、言フ者ハ言フ者デ私ハソノ考ヘハ更ニナイ、今日ノ狀態デ大資本家ガ此經濟界ニ必要デアルト云フコトハ勿論ノコトナラデス、之ヲ財關トカ何トカ言フノガ既ニ間違テ居ル、關稅ヲ立案スルニシマシテモ、國家ノ立場カラ立案セラレタノデアリマスガ、偶然ニ所謂資本家ノ利益ニナツテ行カウガ何デアラウガ、サウ云フコトハ眼中ニナイ譯デアリマス、斯ウ云フコトモ豫メ御斷リ致シテ置キマス、ソレデ御尋ヲ申上ゲタイト存ジマスノデゴザイマスガ、昨日ノ衆議院ノ希望決議ニ依リマシテ、是ハ商工大臣デモ農林大臣デモ、ドチラデモ宜シイノデアリマス、昨日ノ衆議院ノ希望決議ニ依リマシテ、三割五分ノ從量稅ノ増徴ニ付キマシテハ、將來何分ノ考慮ヲスル、アレハアノ儘デア置カナイノダト云フコトガ希望決議トシテ出マシテ、政府モ其趣旨ヲ認容セラレタト云フコトヲ只今承ハタノデアリマスガ、其趣意ハソレハ能ク分リマセヌガ、研究スル暇モゴザイマセヌガ、色ニナ趣意カラ來テ居ルダラウト思ヒマスガ、其一ツトシテハ、マダ

爲替が安定ラシナイ、爲替が安定シナイカラ、モウ少シ様子ヲ見テカラノ方宜カララ、爲替ノコトニ付キマシテハ、度々大蔵大臣ガ御言明ニテ居ル通り、イツ何處デ安定スルヤラ今ノ所ハ見据エガ付カヌ、斯ウ云フ状態デゴザイマスカラ、是ハ矢張り今三割五分ニシテ居ルガ、將來三割五分ガ宜イヤラ悪イヤラ分ラナイカラ、相當ノ期間マデ置イテ置イテ、サウシテモウ少シ見据エガ付テカラ決メテ遅クハアルマイ、斯ウ云フ御趣旨モ含シテ居ルト存ジマス、サウスルト是ハ私ノ考ヘガ或ハ間違テ居ルカ知レマセヌガ、何分咄嗟ノ間ニ研究シテノデアリマスカラ、間違ヒガアツタラ御指摘ヲ願ヒマスルガ、此事ハ他ノ個々ノ品物ノ方デス、關稅定率法中改正法律案ノ中ニ含シテ居ル此二十幾ツカノ品物ニ付キマシテモ、同様ノ關係ニナテ來ハシナイカト云フ疑ヒヲ持テ居ルノデアリマス、矢張り是モ從量稅デアリマス以上、爲替ガ動カネバ、何トカ是モ動サネバナラナイ、現ニ政府ノ材料ニ依リマスルト云フト、此例ヲ鉄鐵ニ取リマスルト云フト價格ノ方カラ申シマスレバ「カルカタ」ノ「エフ・オー・ピー」、二十四「ルーブル」、斯ウ前提トシテ爲替相場ハ百二十ト云フコトデ、是ハ算出セラレテ居ルヤウニ考ヘテ居リマスガ、此二十四「ルーブル」ガドウカト云フコトガ、多少疑ヒガアリマスガ、是ハ別ト致シマシテ、爲替相場ハ始終動イテ居ルガ、只今百十五ニモナッテ居リマス、又後デ色々變テ來ヤウト思ヒマスガ、サウスレバ矢張り印度鉄鐵ノ輸入價格ニ付キマシテハ、當然變動ヲ起シテ來ヤウト存ジマスノデ、ソレナラバモウ少シ爲替ガ安定イタシマシテ、之ヲ御制定ニナ

レバ一向差支ナイ、又サウスベキモノデアアルマイカト思ヒマス、是ハ鉄鐵バカリデハゴザイマスルカラ、總テノ問題ニ通スルコトコトトシテ、農林、商工兩大臣ノ中カラ御答ヘ下サレバソレデ宜シウゴザイマス、次ニハ滿洲ノ關係、滿洲ト日本内地トハ經濟上「ブロック」デアアル、滿洲ハ國防上ノ生命線デアアルコトハ勿論、經濟上ニ於テモ是ハ一ツノ矢張り生命線デアアル、是ハ一ツニ見ナケレバナラナイノダト云フコトハ度々今マデ伺テ居ル所ナンデ、又サウナケレバナルマイト存ジマスルガ、段々此研究ヲ進メテ行キマスルト云フト、此關稅ト云フモノハ滿洲ニ頓著ナク御決メニナツタサウデ、滿洲ト日本トノ經濟政策ガ決マレバ又從テ之ハ動クノダ、斯ウ云フコトナンデス、ソレナラバ何ニモ今御意ギニナル必要モアリマスमितト存ジマス、承ハリマス所ニ依リマスルト云フト、此内地ニ於ケル鉄鐵ノ生産費ハ三十五圓六十五錢ト云フコトニナッテ居リマスガ、鞍山ノ生産費ハ是ハ昭和製鋼所ノ設立ノ趣意書ヲ見タノデアリマス、二十四圓五十錢ト云フコトニナッテ居ル、滿洲ガ遙ニ安イ、生産力ハドウカト云フト、昭和製鋼所ノ計畫ハ五十萬噸デ出來テ居リマスカラ、本溪湖ト合シテ六十萬噸ノ生産力ヲ持テ居ル、只今ノ三十五萬噸ニ比シテ遙ニ生産擴張ノ餘地ガアルト云フコトヲ申シマス、是等ノ關係ヲチヤント御定メニナッテ、滿洲政策ガ確立セラレテカラソレカラ滿洲デハドレダケノ鐵ヲ造ル、内地デハドレダケノ鐵ヲ造ルト云フコトヲ御決メニナッテカラ、ソレカラ斯ウ云フモノヲオヤリニナルノガ相當ナ順序デアアルマイカト思フ、滿洲ハ

構ハズ抛テ置ク、先ツ之ヲヤツテ、滿洲ハ決テラ後デヤレバ宜イ、斯ウ云フコトデゴザイマスガ、申スマデモナク關稅、殊ニ鉄鐵ノヤウナ重工業ニ對スル關稅ハ、一遍決マテシマツタラソレガズト、經濟界ガソレニ順應シテ來ルト云フト、之ヲ直スナント云フコトハ逆モ出來ナイ相談、斯ウ云フコトハモウ一遍決メタラナカナカ直リニクイノデスカラ、滿洲ノ様子ヲ御覽ニナツテ、滿洲ノ政策ガ立テカラ御決メニナルベキモノデアナイカト思フ、殊ニ豫算ヲ見マスルト云フト、滿洲ノ鐵ニ對シテハ獎勵金ガ多少出ルヤウナ風ニナッテ居リマスガ、無論多額デヤゴザイマス、多少ニシロ出ル、是ガ出ルト云フコトニナリマスレバ、其豫算ガドウモ、私ノ見タ所デハ此豫算ニ付テ居ナイ、出テ居ラナイ、是ハマア後カラ出スト云フ御話デアリマセウケレドモ、政府ガ政策ヲ決定シテ議會ガ審議權ヲ行フ以上、斯ウ云フ風ナ難ナ案ハ是ハドウモ誠ニ協贊スルコトガ難イ、後カラヤルト仰シヤツテモ、又ドウナルンダカ譯ガ分ラヌ、斯ウ云フモノハチヤント描ヘテ、サウシテ政策ヲ定メタ上ニ御出シニナルベキモノヂヤナイカ、此點カラ言テモドウモ今日之ヲ御提出ニナル理由ハ無イト存ジマス、ソレカラ是ハ鉄鐵ノ問題デゴザイマスルガ、政府ノ仰シヤル所ニ依リマスルト云フト、鉄鐵ノ内地ノ生産費ガ三十五圓六十五錢、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、此内容ヲイヂテ見マスルト云フト、隨分ドウカト……私共素人ガ考ヘマシテモ、何ダカドウモモウ少シ何トカナリサウナモノダト思フヤウナ費用ガ中ニ含マレテ居リマスル、殊ニ鶴見ノ淺野造船ノ生産費ニ依リマスルト、二十

七圓二錢七厘ト云フコトニナッテ遙カニ安イ、サウスレバ外ノ鉄鐵業ノ方モダマダ整理ノ餘地ガアリハシナイカ、此三十五圓ト云フ計算ハ少シドウモ高過ギハシナイカ、政府ノ御計算トシテ少少高過ギハシナイカト思ハレル節ガゴザイマス、ソレカラ尙ホ政府ガ一噸當リノ設備費ハ幾ラデアアルカト云フコトニ對シテ、五十圓ト云フ御調ニナッテ居ル、併シ是ハデス、政府ハサウ云フ風ニ見テ居ラレマスケレドモ、只今ノ實際ハ是ガ二百四十圓位ニナッテ居ル、是ハドウシチ斯ウ云フ風ニナッテ居ルカト云フト、何モ其人ガ惡イト云フ譯デヤゴザイマセヌガ、物ノ高イ時ニ造タ爲ニ斯ウ云フモノニナッテシマツタノデ、今更是ハ持チ扱テ居ル、ソレデ決シテ其ヤリ方ガ惡イトカ云フコトヲ申スノチヤゴザイマセヌガ、前ニヤツタ其謂ハ、損失、前ニヤツタ損失ヲ國民ノ負擔ニ轉嫁サレチヤ、是ハドウモ堪タモノヂヤナイ、矢張り失敗ラシテ損ヲシタ……失敗ト云フチヤ言葉ガ惡ウゴザイマスガ、思惑違ヒデ大變高イ生産費ヲ掛ケタ以上ハ、是ハ企業者ガ相當ニ整理ラシテ、矢張り五十圓ノ程度迄ニ切下ゲテ、ソレカラ後ニ保護ラスベキガ當然グラウカト思フ、是ダケノコトヲ……成程此希望決議ニ依リマスルト、希望決議ヂヤナイ、政府ノ聲明ニ依リマスルト、合理化トカ大合同トカ云フコトガゴザイマス、大合同ナンテ云フコトハ餘程問題デゴザイマセウ、餘程厄介ナモノダラウト思ヒマス、併シ是ハマアドウ云フコトニナリマスカ知リマセヌガ、合理化ハ出來ヤウト思フノデス、ヤリ方ニ依レバ……此合理化ヲ十分ニ御ヤリニナッテ、サウシテ其狀態ヲ能ク仔細ニ御研究ニナツテ、

サウシテ關稅ヲ御決メニナツテ一向差支ナイ、少々是ハ順序方顛倒シテ、何故コソナニ御急ギニナルノカ其意味ガ能ク分ラナイ、ソレカラ此關稅ガ政府ノ財政ニ付テ隨分影響シヤウト思ヒマスガ、如何ナル關係ニナツテ居ルカ承ハリタイノデス、是ダケ何スレバ……稅ヲ上ゲレバ、政府ノ總テノ此鐵ニ關スル費用ト云フモノハ上ツテ來ル、是ガドノ位ノ御見込デゴザイマスガ、隨分國防ナンゾニ使フモノハ中々多イモノダラウト思ヒマスガ、此點ヲ一ツ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、是ハ大藏省所管ノコトデゴザイマスガ、大藏大臣ナリドナタカラナリ、御分リニナツテ程度デ承知スルコトガ出來レバ宜シイ、ソレカラ尙ホ序ニ、鐵鐵バカリチヤゴザイマセヌ、今ノ豫算ノ關係ハ外ノ關稅ノ目的物ニ付テモ同ジコトデゴザイマス、同ジコトヲ是モ色々ナ此二十幾程、或ハ全體ニ付テノ三割五分、コンナモノヲ上ゲタ爲ニ餘程豫算ノ上ニ影響シテ來ヤウト思ヒマスガ、此金額ハドノ位カ、ソレガ果シテ豫算ニ見テアルモノデアラウカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ、鐵鐵ニハ限リマセヌ、總テノ問題デゴザイマス、ソレカラ先程……只今チヨット私ガ一番初メニ申シマシタケレドモ、此案ト云フモノハ無論政府ガ財關保護ノ爲ニ立テラレタモノトモ何トモ思ヒマセヌ、又政黨ガ政府ヲ動かシテ財關保護ノ爲ニヤツタモノダトモ思ヒマセヌ、併シデス、結果ニ於テ財關……財關ト申セバ何デアアルガ、大資本家ノ利益ニナルト云フコトハ是ハ爭フコトノ出來ナイ事實デアリマス、ソレデスウ云フ思想界ノコンナ状態ノ時ニ、世間ニ是ハ財關保護デヤナイカト云フヤウナ風ニ疑フ懷カセルト云フ

コトハ、是ハドウモ免レヌコトダラウト思ヒマス、此點ハドウモ政府トシテドウ云フ譯デ……サウ云フ點ハモウ少シ明カニナスツテ、サウシテ今迄私ノ説明シタヤウナ……御質問シタヤウナ點ガス、カリ明瞭ニナレバ、世間ノサウ云フ疑惑ナンゾモス、カリ無クナツテシマハウト思フ、モウ少シ是ハ能クサウ云フ點ヲハッキリサレル必要ガアラウト思フ、ソレデ最後ニ總理大臣ニ私ハ申上ゲタイ、只今申述ベタノハ極ク一端デゴザイマシテ、此關稅ノ各品目ニ付キマシテ問題ハ非常ニ多イノデス、何シロ二十幾種ト云フ問題デ、非常ニ重要ナ問題ヲ澤山含シ居ル、ソレデ是ダケノ重要ナ問題ヲ澤山含シ居ルノヲ、組閣以來僅カノ間ノ御研究此處へ御提出ニナルト云フコトハ、是ハ如何ナルモノカ、誠ニ總理大臣ニ對シテ申上ゲニクイ言葉デゴザイマスルガ、モウ少シ政府トシテハ何ダカ國務ニ冷淡ダト云フヤウナ感シヲ一般ニ與ヘナイコトモナイ、如何ニ總理ナ御方デアツテモ、無論中島商工大臣ノ如キハ斯ウ云フ道ニ付テハ權威者デアルト云フコトハ萬々承知イタシテ居リマスケレドモ、政治家トシテノ研究ト、又サウデナイ方ノ立場カラ研究サレルノトハ違フノデアリマシテ、内閣ガ一度更タ以上ハ、斯ウ云フ問題ハ能ク御審議ニナツテ、サウシテ御出シニナルベキモノデヤナイカ、ドウモ内閣ヲ組織スルト直グ斯ウ云フ重要ナ澤山ナ問題ヲ御出シニナル、外ノ問題ハナンデス、サウ云フ問題ハ少ウゴザイマスガ、斯ウ云フ問題ヲ咄嗟ノ間ニ呑込シテマウト云フヤウナコトハ迎モ出來ナイ相談、モチツト是ハドウモ其處ノ點ガ我ミトシテ誠ニ申上ゲニクイケレドモ、納

得ガ行キ兼ネル、殊ニ議會ニ對スル關係、議會ハアト四日デス、四日位ノモノニコソナモノガ精密ニ研究ガ出來ルカ出來ナイカハ御分リダラウト思フ、ソレデ是ハ通常議會マデ御待チニナツテ少シモ差支ナイ問題デゴザイマスカラ、斯ウ云フ問題ハ今是非協賛シテ吳レト云フヤウナコトヲ仰シヤルニハ當ルマイカト思フ、寧ロ是ハ政府ノ方カラ、時日ガ少イカラモト審議ヲ議會デシテ實ヒタイト云フ理由デ御撤回ニナツテモ差支ナイモノト思フ、實ハ齋藤首相ニ對シテ申上ゲニクイ言葉デゴザイマスルガ、國民一同ハ此内閣ニ對シテ多大ナ期待ヲ有ツテ居ル、ドウカ此内閣ヲシテ今迄ノ積弊ヲ一掃スル爲ニ之ヲ後援シテ、サウシテ一ツデモ仕事ヲヤツテ戴キタイト思ヒマスルカラ、大概ノ事ニハ眼ヲネムテ協賛ヲ致シテ居ル、若シ此案ガ單獨内閣ノ時ニ出テ來タモノナラバ、是ハモウ通ラナイコトハ分リ切ツテ居ル、木葉微塵ニナツテ居ル、ソレデサウ云フ風ニ政治上ノ状態ヲ考ヘテ、ドウソ總理大臣並ニ總理大臣ヲ補佐セラルル所ノ各大臣ハ、能ク御考ヘニナツテ、サウ云フヤウナ政情デアレバアル程、内閣ノ方デハ態度ヲ慎重ニサレテ、咄嗟ノ間ニコソナ問題ヲ貴族院ニ持テ來テ、何デモ議了セヨト云フヤウナコトハ御避ケニナツテ、ドウソ世間ニ對シテ無理ヲ押スト云フヤウナ感ヲ懷カサレズ、決シテ總理ガサウ云フ御考デナイト云フコトハ承知イタシテ居リマスガ、サウ云フ風ナコトヲ世間ニ考ヘサセルヤウナコトハ萬々御避ケニナツテ戴キタイ、是ハ此問題バカリチヤゴザイマセヌ、將來ニモ影響スル事デゴザイマス、ドウソ無理ヲ御押シニナルト云フヤウナ事ハ寧ロ斯ウ云

フ内閣デアレバアル程、強イ内閣デアレバアル程、サウ云フ事ハ御考ニナラナケレバナラヌト思フ、誠ニ申上ゲニクイコトデゴザイマスガ、此關稅定率法ハ御差支ナケレバ此際御見合セニナツテ、サウシテユックリ内閣トシテ十分御審議ニナリマシテ、此次ノ通常議會ニ御提案ニナツテ、政府モユックリ研究ヲスル、又我モモユックリ研究ヲスル、サウシテ肚ノ中カラ考ヘガ行ツタト云フコトニ致シタイ、殊ニ此問題ニ付テハ財界ニモ反對ガ多イ、此處ニ御出デニナリマスル所ノ大阪商工會議所會頭ノ稻畑君、副會頭ノ森君、此方ニ御意見モ薄々承知イタシテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ方面ニモ納得サセル必要ガナカラウカト思フ、是ハ今少シ御急ギニナラナカク、タ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、事故ニ至ツテハ少シ御無理ガ存ジマセヌガ、御立場ハ能ク存ジテ居リマスガ、私ハソレヲ希望トシテ總理ノ御意見ヲ伺ヒタイト存ジマス

(國務大臣子爵齋藤實君演壇ニ登ル)

○國務大臣(子爵齋藤實君) 只今ノ御質問ノ最後ノ方ニ付キマシテ、私ヨリ一應御答ヘ致シマス、本案ハ既ニ關稅調査委員ニ於キマシテ十分ニ審議サレタ問題デアリマシテ、是ハ政黨ノ政策トカ何トカ云フコトデナク、國家トシテ十分ニ調査セラレタ問題デアリマスルニ依ツテ、前内閣ニ調査セラレタモノデアリマスケレドモ、十分ノ調査ガ出來、國家ノ爲ニ斯ウアツテ然ルベキモノト云フコトヲ考ヘマシテ、此議會ニ提出イタシマシタ次第デアリマス、何卒御審査ノ上ニ御協賛ヲ賜ハラムコトヲ希望スル次第デゴザイマス、其他ノ點ニ付キマシテハ、他ノ主務大臣ヨリ御答ヲ申上ゲマス

(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)

○國務大臣(高橋是清君) 御質問ノ諸點ニ付キマシテ、私ノ關係スル所ヲ御答ヘ致シマス、御承知ノ通り此關稅ヲ高クスルト云フコトハ、一ツハ國內ノ、内地ノ産業ヲ助長スル、之ヲ保護シテ助長スルト云フ目的ニ出ヅルモノト、一ツハ又政府ノ收入ヲ増加スル爲ニ關稅ヲ高クスル、此二ツノ目的ガ各國ニ於テモ關稅ノ上ニハ現ハレテ居リマシマス、而シテ今般ノ提出シテ居リマス此關稅ノ改正ハ重キヲ國內産業ノ助長ニ置イテ居ルノデアリマス、又爲替相場ガ安定ヲシナイ、ソレハ今日三十一二弗デ先ヅ動搖ノ幅狭クナッテ居リマス、マダ併シ是ガ爲替相場ノ安定シタトハ言ハナイノデアリマス、其爲替相場ノ定マラスノニ何モ今急イデ此從量稅ノ改正ヲスルニハ及ブマイト云フ御意見ノヤウデアリマス、成程爲替相場ハ是デ安定シタトハ申サレマセヌ、併ナガラ既ニ金ノ輸出再禁止ヲシマシタ、是ハ爲替相場ガ下ガルト云フコトハ是ハ當然ノ話デス、唯如何ナル程度ニソレガ下ガルカ、下ガッタモノガ如何ナル所ニ安定スルカト云フコトハ是ガ分ラヌノデアリマス、此從量稅ヲ定メマシタ時ノ爲替相場ハ、亞米利加ノ弗ノ四十八九弗ノ相場ノ時ニ之ヲ基準トシテ從量稅ヲ定メタノデアリマス、今日爲替相場ガ現在ノ如ク下ガッテ居マスト云フト、此從量稅ニ保ハルモノハ爲替相場ガ下ガッタ爲ニ利益ヲ得テ居ル、恩惠ヲ受ケテ居ル、四十八九弗ノ相場ヲ標準トシテ定メタモノガ今日三十一二弗ト云フ所ニ稍、動イテ居ル、落著イテ動イテ居ルヤウデアル、モウ明カニ此從量稅ト云フモノハ其儘ニハ、從前ノ儘ニハ捨テ置カレスト云フ

コトガ確カナノデアリマス、ソレ故ニ先ヅ今日動キノ餘リ無イ所ノ三十一二弗ノ爲替相場ヲ基準トシマシテ、現行ノ爲替相場デ此從量稅ニ採算シテ參リマスト云フト、其現在カケテ居ル稅ノ三割五分ガ先ヅ適當デアラウ、之ニ矢張り輸入品ノ價格モ考慮シマシテ、從價稅トノ關係ヲモ調ベテ、提案ノ如ク定メテ次第デアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラマダモ一ツアリマシタ、此關稅改正、關稅ヲ改正シタ爲ニ政府ノ歳入ヲドレ位ニ見ルノカト云フ御尋ネノヤウデアリマス、是ハ豫算ニモ計上シテアリマスカ、此七年度ノ豫算ニ載テ居リマスルノハ千六百萬圓、今般ノ關稅改正ニ依リマシテ歳入ノ殖エルモノガ千六百萬圓デアリマス、而シテ是ハ九箇月分ノ計算デアリマス、故ニ之ヲ一箇年分トシマスト今般ノ改正デ先ヅ二千萬圓ノ增收ガアルト云フ計算ヲ立テテ居リマス

(國務大臣男爵中島久萬吉君演壇ニ登ル)

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 大河内子爵カラノ御質問中、私ノ所管ニ屬シテ居リマスル部分ニ付キマシテ御答辯ヲ申上ゲタイト存ジマス、子爵ノ御質問中鐵鐵業ノ現在ニ於ケル困難ハ、業者ガ過去ニ於ケル設備ノ過剩重複ト經營ノ非合理化ノ結果デアッテ、鐵鐵業者ガ自家ノ設備ノ改善ニ依ッテ、生産ノ合理化ヲ行ハズニ、徒ニ政府ノ保護ヲ求ムルコトハ甚ダ其當ヲ得ナイ、先以テ自家ノ内容整理ヲ行ッテ、ソレデモ尙ホ自立ノ基礎ヲ得ルコトガ出來ナイト云フ曉ニ於テ、初メテ國家ノ援助ヲ求ムルモ亦遅カラズト云フガ如キ御議論デアッタヤニ拜聽イタシマシタ、是ハ私モ全ク御正論ダト

認メマス、固ヨリ本法ノ當業者ト致シマシテモ、必ズシモ自カラ爲スベキヲ爲サズシテ、徒ニ政府ノ保護ニノミ依頼イタシテ居ルト云フ譯デハナイノデゴザイマス、例ヘバ輪西、兼二浦、釜石ト云フガ如キ、此三者ニ付テ見タダケデモ最近千數百萬圓ノ企業費ヲ投ジマシテ、作業能率ノ向上ヲ圖リ、其生産能率ノ如キモ亦百二十萬噸ト云フガ如キ巨額ニ上ボッテ居リマシテ、尙ホ其生産費ニ於テモ、大正十五年ノ當時ト比較イタシテ見マスト、殆ド隔世ノ感ガアルヤウナ程度ニ進ンデ居ルノデゴザイマス、唯現下特別ノ事情ニアリマスル所ノ印度鐵ノ爲ニ異常ナル脅威ヲ受ケマシテ、滞貨ガ嵩ミ、流石ニ其負擔ニ堪ヘ切レヌ現狀ニアルガ爲ニ、差當リ此不當ナル海外ノ競争カラノ壓迫ヲ免カレシメマシテ、一應斯業ヲ其合理化ノ地位ニ回復セシムルニ非ズンバ、本邦精製事業ノ結局一部ノ作業停止ヲ免カレ難イ現狀デゴザイマス、斯ノ如ク相成リマスルト、精製業ノ包容イダシテ居リマスル労働力ハ、其程度ニ於テ失ハレマシテ、延イテサナキダニ昨今陰鬱ナル失業問題ニ一段ノ暗影ヲ投ズルト云フコトニ至リハスマイカ、尙ホ精製業ノ副産物ニ伴ッテ、折角發達シ來リマシタ所ノ有機化學工業ノ成立ヲモ、害スルニ至リハスマイカト云フヤウナコトヲ考ヘマスル時ニ、今回ノ鐵鐵ニ對スル關稅ノ引上ハ誠ニ已ムヲ得ザルモノト認メマシタ次第デアルノデゴザイマス、併ナガラ又醜テ考ヘマスルト、子爵ノ仰セニ相成リマシタ通り、當業者ガ漫ニ國家ノ保護ニ馴レマシテ、設備ノ改善充實、作業ノ合理化等ヲ忘レルニ至リマスルコトモ、亦國家トシテ大ニ戒シメナケレバナラヌノ

デアリマスカラ、先程劈頭ニ御質問デゴザイマシタ通りニ、此事ガ偶、本案ニ關スル衆議院ノ討議ノ場合ニ於テ、一度ナラズ其言議ニ上ボリマシタ所デ、遂ニ本案贊成ノ附帶希望決議ト致シマシテ、新聞ニ御覽ニ相成リマシタ通りノ聲明ヲ致スコトニ相成ッタノデアリマス、此段ハ何卒國家ノ爲ニ御諒察ヲ仰ギタイノデゴザイマス、尙ホ御質問中財閥ノ保護ト云フヤウナ點ニ付テノ事モゴザイマシタヤウニ拜聽イタシマシタガ、成程三井、三菱兩家ノ如キモノガ鐵鐵ノ事業ニ於テ相應重要ノ部分ヲ占メテ居リマスコトハ即チ事實デゴザイマスケレドモ、併ナガラ鐵鐵ノ生産分野ニ於ケル三井、三菱兩家ノ領分ニ至リマシテハ、僅ニ全體ノ二割強ニ過ギナイノデアリマシテ、必ズシモ本法ノ鐵鐵事業ガ三井、三菱ノ專營事業デアルト云フ譯デハナイノデゴザイマス、此點モ事實トシテ御認メテ御答辯キタイと思ヒマス、尙ホ滿蒙トノ關係ニ付テノ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ衆議院ノ委員會ニ於テモ屢、拓務大臣ヨリ御答ガアリマシタノデアリマスガ、本日ハ拓務大臣ガ御見エニナリマセヌノデ私カラ代テ御答辯ヲ申上ゲタイト存ジマス、滿蒙トノ關係ニ付キマシテハ子爵ノ仰セノ如ク、固ヨリ本案ニ對シテ極メテ重要ナル關係ヲ有ッテ居リマスカラ、是ハ更ニ案ヲ具シテ次ノ議會ニ御諮リヲ致スコトニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、代ッテ御答辯ヲ申上ゲマス

○子爵大河内輝雄君 子爵ト細カイコトデスガ、今ノ鐵鐵ガ二割ダケガ大資本家ダト云フコトデゴザイマスガ、二割ト云フコトノ外ハ何ヲ仰シヤルノデスカ、後ノ八割ハ何ヲ云フノデスカ

〔國務大臣男爵中島久萬吉君〕 登

ラアルト云フコトヲ伺フコトハナイ、斯ウ

リマスカラシテ、今後ハ從前ヨリハ物價カ

テ聊カ御尋ラ致シタイト存ジテ居リマシタ

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 私ノ統計ハ聊カ古クハアリマスケレドモ、大體比例ハ失テ居ナイ積リテゴザイマスカラ御答

云フ風ニ關稅ヲ御上ゲニナレバ歳出ニ影響シテ來ル、歳出ガ膨脹シテ來ルダラウ、是ハ幾ラニナリマスカト云フコトヲ御尋ネシ

上ガルト云フコトハ一般ニ想像ガ出來ルノデアリマス、其考ヲ以テ豫算ハ編成シテアルノデアリマス

所ノ大要ニ付キマシテハ、只今大河内子爵ヨリ縷々御質問ガゴザイマシテ大半盡キテ居ルノデアリマス、併ナガラ尙ホ二三問子

強、關東ノ方面ノ業者ノ領分ガ三分五厘、只今申上ゲマシタ通りニ三井、三菱ノ領分ガ二割強デアリマシテ、其外ハ官業ノ五割二分、其他デゴザイマス

豫算ニ御見込ミニナルヤ否ヤト云フコトヲ御尋ネシタノデス

○子爵大河内輝耕君 大體ノ意味ハ能ク分リマシタ、兎ニ角政府ノ仰シヤルコトダケハ能ク分リマシタガ、最後ニ總理大臣ニ今

テハ、只今大河内子爵モ申サレマシタ如ク極メテ慎重ナル態度ヲ取ラナケレバナラナイデアリマス、殊ニ昨今ノ如ク國際間ノ

○子爵大河内輝耕君 確メテ置キマス、滿洲ノ二割ハ之ニ何ニモ關係ノナイコトハ勿論デアリマス、關東ノ三分五厘、是ハ關係ガゴザイマセウ、官業ハ製鐵事業デセウガ、

關稅ノ改正ヲスル結果歳出ガ膨脹スルト云フ御尋ネノヤウデアリマスガ、而シテ其膨脹スルノハ歳出ニ於テ幾ラ殖エルカト云フ

了サセルト云フコトハ是ハドウモ御互ニ止メタイト思フ、餘リ面白イコトデナイト私

デアリマシテ總理大臣ハ關稅調査會ニ付シテ慎重ニ審議シタト御答ヘニナツタノデアリマス、併シ私ノ聊カ承知シテ居ル所ニ

是ハ一貫作業デアリマスカラ鐵鐵ノ關稅ガ上、タダケノコトナラバ是ハ變ハルコトハナカラウ、結局實利ヲ得ルコトハ結果カラ

御答ヲ致サセルヤウニ致シタイト思ヒマス

ノ時間ヲ取、テモ已ムヲ得マセヌカラ十分研究サシテ、サウシテ決議サセルト云フコトガ是ハ總理ノ御本心ダラウト思ヒマス、

於テハ、關稅調査委員會ハ、議會ノ開會時期前即チ先月ノ二十日デアツタカト存ジマスガ、タツタ一回開カレテ居ルノデアリマ

セ、事實影響ヲ受ケルノハ、此二割ト仰シヤツタモノダケガ、利益ヲ受ケルト云フ結果ニナラウト思ヒマスガ如何デスカ

○子爵大河内輝耕君 度々伺フテ何デスカ、事務費ノ増加ヲ伺フテ居ルノデハゴザイマセヌ、關稅ガ上ガレバ、例ヘテ申セバ陸軍

此案ニ付テハ何モ申シマセヌガ、將來ハ左様ナ御考ダラウト存ジマスガ、左様心得テ宜シイカ否ヤ、是ハ重大ナ問題デゴザイマスカラ、今一應御答辯ヲ願ヒマス

ス、而シテ其一回開カレテ調査委員會ニ於テ斯カル大問題ガ即決サレタノデアリマス、無論其以前ニ於テ政府當局ニ於カレマシテハ、此問題ニ付テ慎重ニ審査ニハナツテ

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 私ハ子爵ノ御尋ニ伴ヒマシテ唯本邦ノ製鐵業ニ於ケル生産分野ヲ申上ゲタノデアリマシテ、其關係ニ付キマシテハ全ク子爵ト御同論デア

是等ノモノヲ買フコトニ付キマシテハ餘分ノ費用ガ要ルダラウト云フコトヲ聽クノデ、其意味デ御答ヲ願ヒマス

○國務大臣(子爵堀藤實君) 只今ノ御説ニ付キマシテハ御同感デゴザイマスカラ……

居ルコトトハ考ヘマスルケレドモ、事實ハ一回ノ關稅調査委員會ニ於テ之ヲ難ナク議了シテ居ルノデアリマス、先年、大正十五年

○子爵大河内輝耕君 今一應大藏當局ニ御尋ネシタイノデスガ、誠ニ大藏大臣ヲ煩ハシテ相濟シマセヌノデスガ、大藏大臣デモ

此物價ノ上ガルノハ單リ關稅ノ増加ニ依テ上ガルモノニ止マラス、今後通貨ノ膨脹ヲ圖リマシテモ、其目的トスル所ハ現在ノ

○議長(公爵德川家達君) 大河内子爵ノ質問ハ終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

ト記憶イタシマスガ、一般關稅ノ改正ヲ企テラレマシタ時ニ於テハ、今回ノ改正ヨリモソレハ一般デアリマスルカラ非常ニ範圍ハ廣イノデアリマス、其時ニ於キマシテハ此

○議長(公爵德川家達君) 斯波男爵(男爵斯波忠三郎君演壇ニ登ル)

○子爵大河内輝耕君 是デ終了イタシマシタ

○議長(公爵德川家達君) 斯波男爵(男爵斯波忠三郎君演壇ニ登ル)

貴族院ノ諸公ノ中ニモソレニ参加サレタ方ガ澤山アツタカト記憶イタシテ居リマスガ、長キ時日ノ間慎重ニ慎重ヲ重ネテ審議サレテ居ルノデアリマス、殊ニ現下産業ノ不振、

失業問題ノヤカマシキ此時ニ於キマシテハ、斯カル國民經濟ニ大影響ヲ及ボシマス所ノ問題極メテ慎重ニ審議サレムコトヲ望ム譯デアリマス、大河内子爵ハ斯カル短期ノ臨時議會ニ於テ、急イデ之ヲ審議サレルコトニ付テ御難難ナ御質問ガゴザイマシタヤウデゴザイマスルガ、私ハ全然御同感デアリマス、政府御當局ノ御説明ニ依リマスレバ、今度ノ改正ハ收入主義ニアラズシテ、産業ノ振興ニアルノデアアル、是デ以テ我帝國ノ産業ヲ開發スルノニ資スルノデアルト云フ御説明デアアルヤウデアリマス、果シテ政府ノ御考ヘニテ居ルガ如ク斯カル急激ニ又多額ノ増額ヲ突如シテ爲サル上ニ於テ、其産業振興ノ目的ヲ達シ得ラレルヤ否ヤハ私ハ大イニ疑フノデアリマス、産業ノ振興ノ要諦ト致シマシテハ、何ト申シマシテモ生産費ノ低下ヲ圖ル外ニナイト存ジマス、而シテ輸出ヲ盛ンナラシムルニ歸結ハアラウト思フノデアリマス、殊ニ我帝國ノ如キ工業ノ原料ノ乏シキ國ニ於キマシテハ、此生産費ノ低下中、原料ニ屬スルモノノ價格ヲバ出來ルダケ低下スルコトニ努メナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ今回從量稅ヲバ爲替相場ノ變動カラト云フコトニ依リマシテ、突如トシテ三割五分増加サルル案デアアルヤウデアリマス、而シテ此從量稅ガ三割五分増加サルト申シマス其法律案ノ文句ヲ見テ見マスルト云フト、一齊ニ從量稅ニ對シテハ三割五分増加スル、併シ其次ニ羅列シテアル品目ニ對シテハ此限リニアラズト書イテアルノデアリマシテ、此處ニ羅列サレテ居リマスル品目ハ關稅ヲ上ゲナイノデアアルカト思フテ居リマスルト云フト、關稅定率法ノ所ニ至リマシテ、

三割五分ドコロデアリナイノデアリマス、モトモト上ルノデアリマス、只今大河内子爵ガ例ニ取ラレテ御話ニナリマシタ鉄鐵ノ如キハ、現今百斤ニ付テ十錢ノ關稅ガ掛テ居ルモノガ、之ガ突如トシテ百斤ニ付テ三十六錢課スルコトニナルノデアリマス、二十割ノ増加額ニナルノデアリマス、デ此三割五分ノ増加ト云フコトニ付キマシテノ基礎ハ何處ニアルノデアアルカト云フコトヲ衆議院デモ質問ガアッタヤウデアリマシテ、速記録ニ於テ聊カ承知シテ居リマスルガ、政府御當局ノ御答辯ハ先ヅ此邊ガ適當ト思タト云フ位ナ御答辯ニ過ギナイヤウデアリマス、先程モ大藏大臣カラノ御答辯ニ爲替相場ガ變動ヲシタガ爲ニ、先ヅ三割五分位ナ所ガ適當デアラウト云フ御説明デアッタヤウニ私議席カラ伺ッタノデアリマス、併シ爲替相場ダケヲ基礎トスベキデナクシテ、物價ノ高下ヲモ考ヘナケレバナラヌノデアラウト思ヒマス、先程大藏大臣ハ現行ノ從量稅率ヲ決メテ時代ニハ、爲替相場ガ四十八九弗デアッタ時代デアアル、ソレガ昨今デハ三十三弗位デアアルト云フコトデアッテ、單ニ爲替相場ニ基礎ヲ置イタヤウナ御話デアッタノデアリマスケレドモ、モウ一ツ考ヘナケレバナラヌ大キナ茲ニ一ツノ狀況ハ、物價ノ指數デアアルト思ヒマス、其當時設定サレマシタ時ノ物價ト、現今ノ物價トヲ比較シテ見マスレバ、現今ノ物價ノ指數ハ、當時カラ見レバ四割位下落シテ居ルノデヤナイカト思ハレルノデアリマス、然ラバ此物價ノ指數ヲバ何故御考慮ニ入レテオ出デナラヌノデアアルカ、爲替相場ノ下落ト云フコトハ、又一方カラ申セバ、是ハ物價ガ、輸入物價ノ向上カラシテ、自然ニ保護サレテ

居ルト云フ見方モ出來ルノデアリマス、ソレニ加フルニ物價ガ下テ居リマスナラバ從量稅ニ關スル限リハ、是ハ非常ナ保護ヲモウ既ニ受ケテ居ルト言テ宜シイノデアリマス、其上ニマダ三割五分、一度ニ三割五分上ゲナケレバナラヌト云フコトガチヨト解シクイノデアリマス、是ハドウ御説明下サイマスカ知レマセヌガ、此點ニ付キマシテ大藏當局ノ御説明ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、今ヤ我國ノ産業界ハソレコソ技術其他經營ノ方面ニ於キマシテモ、全然堅實ナ發達ヲ遂ゲツツアルト云フコトハ、事實ニ徴シテ見エルノデアリマス、從來我國カラシテ外國ニ輸出セラルルモノハ嗜好品デアルトカ、或ハ質澤品デアルトカ云ッタヤウナモノガ其對象デアッタ所ガ、近頃ハソレコソ所謂近世工業ノ產物ガ諸外國ニマダ輸出サレル氣運ニ向イテ來タノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ鐵類ノ製品デアリマス、其中デ近頃最モ著シク感ゼラレルノハ機械類デアリマス、尙ホ水道鐵管ノ如キ、是ガ南洋方面ハモウ既ニ輸出サレテ居ルノデアリマスガ、尙ホ進ンデ極ク最近ノ話デアリマスガ、歐羅巴カラモ註文ヲ受ケテ、大阪方面ノ鐵工業者ハ水道鐵管ヲ歐洲マデ輸出スルニ至ッタト云フ話モ聞イテ居ルノデアリマス、現ニ輸出表ヲ見マシテモ、鐵製品ノ輸出ハ最近二千三百万圓ナリ四百萬圓位ニ達シテ居ルト存ジマス、四番目カソコラニ當テ居ルヤウニ存ズルノデアリマス、此矢先キニ持テ來マシテ、突如トシテ此三割五分ノ一般ニ從量稅ヲ上ゲ、殊ニ鐵鐵ノ如キ二十六割モ増加スルト云フコトハ、折角其緒ニ就カムトスル我國ノ輸出工業ニ對シテ、非常ナ打撃ヲ與ヘルモノ

デハナイカト思フノデアリマス、現ニ極メテ堅實ナル發達ノ途中ニアリマス所ノ諸機械工業、是ガ何ト申シマシテモ、今回ノ鐵關稅ノ結果非常ナ打撃ヲ被ルコトハ爭ハレナイ事實デアアルノデアリマス、併シ一方ニ於テ鐵鐵ノ關稅ヲ上ゲナケレバ、日本ノ製鐵業ガ減ビルト云フ位ニ仰セニナルノデアリマスガ、此鐵關稅ノ値上ノ結果、是カラシテ利益ヲ得ルモノト、又之ニ依テ迷惑ヲ感スル者トガドノ位アルカト云テ考ヘテ見マスルト云フト、是ハ比較ニナラヌ位迷惑スル者ガ多イノデアリマス、鐵鐵製造業者ト云フモノハ、是ハ極ク數ニ於テハ少イノデアリマス、或ハ是迄投下シタ資本ニ於テハ可ナリナモノヲ使テ居ルカモ知レマセヌガ、其數ニ於テハ極メテ少イノデアリマス、又ソレニ從來イタクシテ居リマスル職工等ニ至リマシテモ、是ハ比較ニナラヌ位少イノデアリマス、ソレハ其管デアアルノデアリマス、鐵工業者ハ、是ハ全國ニ亙テ廣ク散布サレテ居ルノデアリマシテ、小ハ田舎ノ鍛冶屋ヨリ、大ハ大造船所ノ經營ニ至ル迄、鐵ヲ用ヒザルモノハナイノデアリマシテ、此鐵ノ値上ガリ程此方面ニ打撃ヲ與フル大ナルモノハナイト申シテ宜カラウト存ズルノデアリマス、併シ其鐵鐵ノ工業ハ、是ハ國家ノ重要工業トシテ、是ハ是非存置シナケレバナラヌコトハ申ス迄モナイノデアリマス、此點ヨリ致シマシテ、政府ハ製鐵ニ關スル保護ニ付テハ至レリ盡セリデアアルノデアリマス、現ニ鐵鐵業者ハ獎勵金ヲ受ケテ居ルノデアリマス、一噸生産スルニ付テ五圓位ノ獎勵金ヲ政府カラ頂戴シテ居ルノデアリマス、其外ニ今回尙ホ一噸ニ付テ……百斤ニ付テ三十

六錢デアリマスルカラ、一噸ニ付テ六圓ニ先ツ當ル譯デアリマス、サウ致シマスト鉄鐵業者ガ一噸ノ鉄鐵ヲ製造シマスト云フト、國家カラ之ニ對シテ十圓ト云フ非常ナ多額ヲ保護獎勵ヲ受ケテ居ル形ニナルノデアリマス、故ニ於テ少シク數字ニ互テ御質問シナケレバナラスノデアリマスルケレドモ、此席ニ於テ管シシク生産費ガドウデアアルト云フヤウナコトニ付テノ數字ノ御質問ハ、御聽苦シイグラウト思ヒマスルカラ、是ハ他ノ機會ニ讓リマシテ此處デハ申上ゲマセヌ、ケレドモ斯カル多額ノ保護獎勵ヲ要スル程ニ、日本ノ製鐵業ガ幼稚デアアルトハ考ヘナイノデアリマス、斯カル多額ノ、獎勵金ヲ多額ニ要サナケレバナラナイト云フノハ、是ハ先程大河内子爵カラモ仰セニナリマシタ如ク、我國ニ於ケル製鐵業ガ戰爭直後ニ於テ、或ハ戰爭中ニ於テ極メテ物價ノ高カリシ其當時ニ於テ設立サレタ、其設備ヲ以テ經營セムトスルカラ、斯カル無理ガ生ズルノデアラウト思フノデアリマス、今全ク白紙ノ上ニ於テ、新ニ製鐵所ヲ設立スルト致シマスレバ、斯カル多額ノ費用ヲ要スルコトハ萬々ナイト私ハ信ジマス、ソコデ先程大河内子爵ガ商工大臣ニ御尋ネニナリマシタヤウニ、此問題ハ先以テ現在我國ニ現存シテ居ル製鐵業者ノ合理化ヲ行ヒ、尙ホ必要ナラバ資本ノ切下ゲナリ、合同ナリ行テ、然ル後ニ國家ノ保護ヲ要求スベキデナイカト云フ御議論ハ、是ハ商工大臣モ御認メニナリテ居ル通り、其通りデアラウト思フノデアリマス、然ルニ今回此關稅定率ノ増額案ガ突如下シテ議會ニ出マシテ、最早既ニ衆議院ヲ通テ貴族院ニ來テ居ルノデアリマシテ、我ト致シマシテハ誠ニ

取扱ヒニクイ問題ニナリテ居ルノデアリマス、併シ斯カル、製鐵業ノ基礎ガ斯カル狀況ニアル其矢先キニ於テ、此處ニ提案サレテ居リマスルヤウナ關稅ヲ上ゲタトモ、果シテ其目的ガ達シ得ラレルヤ否ヤト云フコトニ付テモ、亦聊カ疑問ヲ殘スノデアリマス、商工大臣ハ徹底的ニ合理化ヲ行フ、此議案ガ通過シタ以上ハ製鐵業ニ對シテ徹底的ニ合理化ヲ行フト云フ御聲明ヲ遊バシタサウデアリマス、ケレドモ又一方カラ考ヘテ見マスルニ、現在ノモノヲ考慮サレテソレヲ整理サレタ所デ、斯カル多額ノ獎勵金並ニ關稅ヲ、ソレガ半減スルト云フヤウナ風ニ考ヘラレ得ルノデアリマセウカ、或ハ三分ノ一ニ減ルノデアアルト云フコトモ考ヘラレルデアリマセウカ、此點ニ付テ現在ノ保護金ガ多額デアリマスノデ、之ヲ徹底的ニ整理スルトハ仰セラレマスルケレドモ、然カナサレテモ此保護金ガサウ急激ニ減少シ得ルモノデアアルトモ考ヘラレナイノデアリマスルガ、其點ニ付キマシテノ御考ヲ承ハルコトガ出來マスルナラバ、誠ニ幸ヒト存ズルノデアリマス、今回ノ關稅ノ値上ゲハ大河内子爵モ御述ベニナリマシタ如ク、二三ノ製鐵業者ガ救済サレルダケニ止マリハセナイカト云フコトヲ仰セラレタノデアリマス、此救済ト云フコトト國家ノ産業保護ト云フコトトハ、是ハ申ス迄モナク全然別ノ立前デ考ヘテ戴カナイト云フト、殊ニ昨今ノ如キ資本家ニ偏重スルト云フヤウナ、事實ハナクトモ左様ナ懸念ノアル場合ニ於テハ、是ハ十分ニ考ヘナケレバナラヌコトデアラウト思フノデアリマス、私ノ記憶スル所ニ依リマスルト云フト、先年産業審議會ナルモノガゴザイマシテ、其審

議會ニ於キマシテモ本問題ガ議セラレマシテ、關稅ノ値上ゲト云フコトガ問題ニナッタヤウニ聞イテ居リマス、而シテ其當時ニ於キマシテノ案ハ、凡ソ額ハシヤカリ私ハ記憶イタシテ居リマセウケレドモ、凡ソ十圓位ノ關稅ノ引上ゲヲ一噸ニ付テ致シテ、サウシテ是迄與ヘテ居タ所ノ製鐵ノ保護獎勵金ヲ全廢スルト云フ案デアッタヤウニ考ヘテ居リマス、然ルニ今回ハ其獎勵金ヲモ矢張り存置シテ置キ、サウシテ六圓ココニ與ヘヤウト云フノハ、丁度其産業審議會ノ節ニ考ヘラレテ居リタヤウニ、矢張り鉄鐵一噸ニ付テ凡ソ十圓ノ保護ヲ與ヘナケレバナラヌト云フコトカラ割出サレテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、サウ致シマス、其時代ト現今ト何等製鐵業ニ於テ進歩ヲ見テ居ラヌト云フヤウナ結果ニ相成ルノデゴザイマスケレドモ、私ノ承知シ居ル範圍ニ於キマシテハ、製鐵業ノ技術ハ其當時ヨリ遙ニ進歩イタシテ、生産費ガ安ク出來得ルヤウニナリテ居ルト思ヒマス、然ルニモ拘ラズ、矢張り其當時ト全體ニ於テ同額ノ獎勵金ト申シマスカ、關稅ト獎勵金ト加ヘマスト、其當時考ヘラレテ居タ所ノ額ト同様ノモノガ要ルト云フコトハ、如何ニモ不審ニ堪ヘナイヤウナ感シガ致スノデアリマス、此點ニ付キマシテ、當局ハ如何御考ヘニナリテ居リマスカ、是モ伺フコトガ出來レバ結構ダト思ヒマス、其他尙此細目ニ涉テ承リタイコトモ澤山ゴザイマス、澤山ゴザイマスルガ、此本會議ノ席上ニ於テ左様ナコトヲ承ルコトハ頗ル堪ヘマセウカラ、他ノ機會ニ讓ルコトト致シマスガ、一ツ茲ニ伺テ見タイノハ、日本人ガ海外ニ於テ經營シテ居リマスル其生産品ガ、國家の樞要ナモノ

デアアル場合ニ於テハ、ソレヲ單ニ外國品ト云フ立場カラシテ、外國品視スルト云フコトガ善イカ悪イカト云フコトデアアルノデアリマス、ト云フコトハ、具體的ニ申シテ見マスレバ、印度鉄デアアルノデアリマス、印度鉄ハ御承知デアアラウト思ヒマスルガ、是ハ一部日本人ノ投資シテ居ルモノガアルノデアリマス、ト云フノハ、内地ノ工業原料ノ最モ大事ナモノデアアル鉄鐵ヲ安ク印度カラ入レルト云フ目的デアラウタモノダラウト思ヒマス、所謂邦人ノ海外投資ト申ス事業ノ一ツダラウト思ヒマス、是ハ不必要ノモノモアルカモ存ジマセウケレドモ、必要ナ工業原料、殊ニ我國ノ如キ工業原料ノ乏シキ國ニ於テハ、寧ロ獎勵スベキ事業デアアルカモ知レヌト存ズルノデアリマス、以上ノ見地カラ申シマスルト、内地ノ製鐵業者ハ、印度鉄ヲバイツデモ目ノ敵ニ言ヒマスルケレドモ、又見方ニ依テハ左様ニ敵視スベキデモナイヤウニ考ヘルノデアリマス、殊ニ先程大河内子爵ノ申サレタル如ク、滿蒙ニ於ケル我が邦人ノ經營ニ係ルモノデアラウテ、而モ昨今滿洲ノ資源開發ト云フ聲ノ最モ高調サレテ來テ居ル此時ニ際シテ、之ヲ阻害スルヤウナ方策、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌコトデアラウカト思ヒマス、滿洲ノ資源ヲ開發スルト云フコトハ、我國ノ生命線ノ第一線デアアルトサヘ言ハレテ居ル位デアルノニ、滿洲ニ於ケル邦人經營ノ此產物ヲバ、内地ヘ入レルコトヲムツカシクスルヤウナ傾ノアルモノハ、是ハ大ニ考慮シナケレバナラスノデアリナイカト考ヘマス、此點ニ付キマシテ先刻大河内子爵カラ御尋ネニナリテデアリマスルガ、マダ滿洲ニ對スル日本ノ大方針ト云フモノガ十分定テ居

ラスト云フヤウナコトヲ承、タノデアリマ
スルケレドモ、此點ハ十分御考ヘニテ、處
理サレムコトヲ希望シテ置クノデアリマ
ス、是ハ質問デハゴザイマセヌケレドモ、
序ナガラ申述ベタ次第デアリマス、私ノ御
問ヒ致ス所ノ要點ハ、大藏當局ニ對シマシ
テハ、此三割五分ト云フコトハ、何故三割
五分ナノデアアルカト云フコト、其質問ノ理
由ニ付キマシテハ、申述ベタ通りデアリマ
スルシ、又商工關係ノ當局ニ對シテハ、私
ノ申述ベタ點ノ最モ要用ナ點ハ、製鐵業ノ
整理ヲ思ヒ切、テ御ヤリニナルト云フコト
デアアルガ、左様爲サレタナラバ、今回御決
メニテ、タヤウナ、現今定メラレテ居ルヤウ
ナ非常ニ重イ國家的ノ保護ハ、取ラレテモ
宜シイヤウニ相成リマスカ、一言ニシテ申
セバソコノ點ガ一番大事ナ點デアルト思ヒ
マス

〔國務大臣(高橋是清)君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高橋是清) 只今御尋ノ、何
故從量稅ヲ三割五分ト決メタカト云フ御尋
デアアル、先刻モアラマシ其理由ハ申述ベタ
積リデアリマスガ、其從量稅ヲ定メマシタ
時ノ爲替相場ハ、我國ノ紙幣ガ亞米利加ノ
弗ニ對シテ百圓ガ四十八弗ニ當テ居、タ時
ニ定メタノデ、此海關稅ナルモノハ一體言
フト、紙幣デナク邦貨テ取ルノガ當リ前ダ
ト私ハ考ヘテ居ルノデス、其時ノ我ガ紙幣
ガ亞米利加ノ弗ニ對シテ四十八弗……
百圓ノ紙幣ガ四十八弗ノ値ヲシテ居、
タモノガ、今日ハ三十二弗ノ値ニナタ、

シテ見レバ爲替相場ガ下、爲ニ從量稅
ハ、元納メタ稅カラ見ルト云フト輕クナ
タ、三割五分ダケ輕クナタ、斯ウ云フコ
トニ考ヘラレルノデアリマス、ソレ故ニ三
割五分ヲ增加スル、元ノ稅ノ三割五分
ヲ增加スル、斯ウ云フコトニ決メタノ
デアリマス、而シテ前ニ申シマス通り、之
ヲ決メルニ付キマシテハ、唯爲替相場ガ
三割五分下、テ居ルカラ、ソレダケヲト云フ
意味ニ非ズシテ、其輸入品ノ價ヲモ考慮シ
テ三割五分ト云フコトニ決メタノデアリマ
ス、ソレカラ調査會ノコトノ御話ガア、タ
ノデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り、我國
ニ於テハ常設ノ關稅調査委員ト云フモノガ
存在シテ居ルノデアリマス、而シテ其委員
ナル方ミノ中ニハ、平常其職務上ニ於テ我
國ノ産業ヲ保護スル、助長スルト云フコト
ヲ念トシテ調査ヲセラレテ居ル官吏モ尠カ
ラス居ルノデアリマス、既ニ常設ノ委員ト
爲ラレテアル方ミハ……此關稅問題ハ、決
定スル迄ニ隨分長ク世上ニハ問題トナ、テ
新聞等ニモ現ハレタノデアリマス、金再禁
止以來、昨年ノ十二月以來爲替相場ガ下リ
マシタニ付テ、關稅ヲ動カス必要アリト云
フコトハ一般ニ認メラレテ居、タノデアリ
マス、ソレ故ニ成程調査委員會ヲ開キマシ
タノハ一日デア、タカモ知レマセヌガ、其委
員タル諸君ハ前申ス通り常職トシテ常ニサ
ウ云フ事ヲ考慮研究サレテ居ル方ミ、又常職
ニ非ズトモ世間ニ關稅問題ガ左様ニ唱ヘラ
レ、現ハレタ以上ハ、矢張り相當御研究ヲ爲

サ、テ居、タコトダト私ナドハ考ヘルノデア
リマス、ソレ故ニ其調査中ノ時間、時日ト
云フモノハ相當ニ掛リマシタ、又交渉スル
所モ多方面ニ互、テ居ルノデアリマス、ソレ
デ此如何ナル品物ヲ保護シタテ宜イカ、保
護スルナラバドウシタラ宜イカ、サウ云フ
コトニ付キマシテハ關係ノ省ニ於テ專ラ調
ベルコトデアリマシテ、大藏當局トシテハ
其意見ニ重キヲ置ク譯デアリマス、唯大藏
當局トシマシテハ、物ノ稅ガ上レバ、或ハ
其物ガ名前ノ變、タ品物ニナ、テ居ル等ノ關
係ナドヲ能ク調べルニ過ギナイノデアリマ
ス、サウ云フ譯デアリマスカラシテ、唯常
設委員ノ集、タ會議デアリマスカラ、如何ニ
モ會議ノ時間カラ申シマシタラ、或ハ日數
カラ申シマシタラバ、短期ノ間ニ、咄嗟ノ
間ニ決メタヤウニ見エマスケレドモ、事實
ハ左様ニ簡單ニ是ガ決、タモノデナイト云
フコトダケヲ茲ニ申上、テ置キマス

〔國務大臣(男爵中島久)萬吉君演壇ニ登
ル〕

○國務大臣(男爵中島久)萬吉君 斯波男爵
ノ私ノ所管事項ニ關シマスル御質問ハ可ナ
リ多岐ニ互、テ居ルヤウニ拜聽イタシマシ
タガ、主ナル點ハ、今回ノ關稅引上等ニ依
ル即チ我國ノ鐵鑛事業ニ對スル國家的保護
ガ極メテ厚イ、寧ロ厚キニ過グル、此國家ノ
恩典ニ報イルガ爲ニ當局者ハ製鐵業者ニ對
シテ極力生産費ノ合理的引下ヲ圖ラシメ、
此生産費ノ合理的引下ヲ行ヒマシテ、出來
ルナラバ今回ノ關稅引上等ニ依リマシテ

鐵業ノ寧ロ厚キニ過ギル國家的保護ヲ空シ
ウセシムル程度ニ内容ノ整理ヲ圖ラシムル
コトガ出來ルカドウカ、ト云フコトニ付テ
ノ御尋ヲ最モ重シト拜聽イタシマシタガ、
私モ自分ノ力ヲ揣ラズシテ、敢テ當業者ニ
對シテ其内容ノ整理ヲ圖ラシムル努力ノ結
果ガ果シテ那邊ニ及ベキヤト云フコトニ
付テハ、甚ダ微力ヲ歎ゼザルヲ得ナイノデ
アリマスルケレドモ、昨日衆議院ノ委員會
ニ於テ聲明ヲ致シマシタル通り、極力斯業
ノ合理化ニ向ヒマシテハ微力ナガラ其力ヲ
十分ニ致シテ見タイト思ウテ居ル譯デアリ
マシテ、其事ニ付キマシテハ自然斯波男爵
ノ如キ專門家ノ御力ニ依ラザルヲ得ナイト
存ジマスルカラ、ドウカ私ノ志ヲ諒トセラ
レマシテ、御鼎力ヲ賜ランコトヲ希望イタ
ス次第デアリマス、尙ホ製鐵業ト鐵加工業
トノ關係ニ付テモ御論及ニ相成リマシタ通
リ、此鐵鑛業ガ鐵加工業ノ基礎的工業デア
リマスルカラ、此鐵鑛業ニ對スル關稅引上
ノ結果、鐵加工業ガ之ニ依、テ打撃ヲ受クル
ガ如キコトハ固ヨリ避ケナケレバナラヌト
思フノデアリマス、併ナガラ大體ノ上カラ
申シマセウナラバ、此兩者ノ關係ハ須ラク
共存共榮ノ觀念ヲ基礎トシテ考慮イタスベ
キモノデアリマシテ、本邦製鐵業ノ現狀並
ニ鐵鑛市價ノ實際ヲ無視イタシマシテ、專
ラ鐵加工業ノ爲ノミヲ圖リマシテ、國家
ノ上カラ考ヘマシテ、或ハ危險デハナカラ
ウカト云フヤウナ考ヲ持、テ居ル次第デア
リマス、殊ニ男爵ハ鐵加工品ノ輸出ニ對ス

ルナラバ今回ノ關稅引上等ニ依リマシテ

ルナラバ今回ノ關稅引上等ニ依リマシテ

ル關係ニ付テ御心配ニ相成リマシタ様デア
リマスルガ、私ヲ以テ之ヲ見レバ、畢竟原
料ノ生産者ナリ、又ハ輸入業者ナリノ負擔
ニ於テ、或ハ原料安値ヲ頼ミト致シマスル
工業ノ基礎ハ決シテ安固デアリ得ナイ道
理デアリマシテ、現ニ製鐵一般ノ事業ノ上
カラ致シマシテモ、是ガ基礎産業デアリマ
スル所ノ製鐵業ト、之ヲ原料ト致シマスル
鐵加工業トノ關係ハ、此鐵加工品ノ輸出關
係ニ於テモ、亦共存共榮ノ基礎ノ上ニ立タ
ネバナラスト信ズル譯デアリマス、尙モウ
一點御論及ニ相成リマシタ所ハ、先年産業
審議會ニ於テ此問題ガ討議セラレマシタ場
合ニ、種々ナル問題ガ自カラ議ニ上リ、譯
デアリマスルガ、爾來製鐵業ノ生産能率ハ
向上イタシマシテ、先程私ガ申上ゲマシタ通
ニ、當時ト今日ト比較イタシマスルト、製鐵
業生産能率ハ固ヨリ同日ノ談デハナイノデ
アリマス、從テ今回改メテ斯ノ如キ關稅ノ
引上ヲ行フコトガ、製鐵業ノ生産能率ノ上
カラ見マシテ、或ハ不當ニアラズヤト云フ
ヤウナ御考ノ起リマスルコトモ固ヨリデゴ
ザイマスルケレドモ、今回製鐵ニ對スル關
稅引上ノ原因ハ、所謂市價經濟ノ關係ニ出
發イタシタモノデアリマシテ、製鐵ノ最近
ニ於ケル市價ヲ見マスルノニ、昭和五年
年初ニ於テハ、四十二三圓デアリマシタガ、
年末ニ至リマシテ、是ガ三十二三圓ト下落
ヲ致シマシタ、更ニ昭和六年ノ九月即チ英
國ガ金ノ停止ヲ致シマシタ直前ニ於テハ、
更ニ下リマシテ二十五圓内外デアリマシタ

ト思ヒマス、然ルニ英吉利ノ金禁止ノ結果
ヲ受ケマシテ、十一月ノ頃ニ是ガ二十二
圓ト下落イタシマシテ、僅ニ十二月即チ我
國ガ金ノ再禁止ヲ致シマシタ結果ト致シマ
シテ、初メテ六年九月即チ英國ガ金ノ停止
ヲ致シマシタ直前ノ相場ニ戻タト云フノ
ガ即チ現狀デアアルノデアリマシテ、此市價
ニ對シマシテ鐵事業ガ受ケマスル脅威ヲ
除クガ爲ノ關稅引上デアアルノデアリマス
カラ、當時審議會ノ時ニ色々御審議ニ相成
リマシタル製鐵業ノ生産能率ノ關係ト離レ
テ、別途ニ御考ヲ煩シタイ次第デアアルノデ
アリマス、印度ニ對スル我ガ商人ノ投資關
係ニ付テカラ、延イテ印度製鐵ノ發展ニ敵扱
ヒニセナイデモ宜イデハナイカト云フノデ
アリマシタガ、是ハ印度製鐵ノ不當競争ト云
フコトニ對シマシテハ、獨リ我國ノミナラ
ズ、英吉利ニ於テモ、亞米利加ニ於テモ、
非常格別ノ手段ヲ執リマシテ、之ガ防遏ニ
努メテ居ル現狀デゴザイマシテ、獨リ我國
ノミ印度製鐵ニ對シテ敵意ヲ挾ンデ居ルト云
フ譯デハナイノデゴザイマス、此點モ御了
解ヲ戴キタイト存ジマス

ト云フコトヲ極メラレタノハ、爲替相場ノ
變動ニ基イテ極メラレタ、尙其外ニ事情ヲ
考慮シタト云フ御答辯デアラト拜聽イタ
シタノデアリマス、私ガ御尋ネ申上ゲタノ
ハ、爲替相場ノ變動ノ外ニ、尙此稅率ヲ御
極メニナル上ニ於テ、物價ノ變動ト云フコ
トヲ十分ニ御考慮ニナッタカドウカ、變動ト
申シマスヨリモ現行稅率ガ定メラレマシタ
當時ニ比ベマスレバ、現今ノ物價ハ非常ニ
下リテ居ルノデアアル、然ラバ現ニ從量稅デア
ルモノニ非常ナ保護ニナル譯デアアルガ、ソ
レヲ御考慮ニナツタカ否カト云フコトヲ御
尋ネシタノデアリマス、併シ其點ハ爲替相
場其他ヲ考慮シタ、其他ノ中ニ入リテ居ルノ
カモ知レマセヌケレドモ、其他ヲ御考慮ナ
スツタノニシテハ、如何ニモ其影響ガ稅率ノ
上ニ於テ見エナイヤウニ考ヘラレルノデア
リマス、其點ヲ御尋シタノデアリマス、尙
ホ御答辯ヲ伺ヘレバ結構ダト思ヒマス

私ノ質問ニ對シマシテ懇切ニ御答辯ヲ下
サツタコトヲ感謝イタシマスガ、是マデ我
國ノ鐵工業者、其他造船業者、是ハ鐵工業
者ノ中カモ知レマセヌガ、兎ニ角鐵ノ原料
トシテ經營イタシテ居リマスル諸工業者
ハ、暫ク鐵ノ方ニ付テハ我慢ラスルト云フ
立場デアラ居ルノデアラウト思ヒマス、ド
ウシテモ是ハ未來永劫國家ガ多額ノ保護ヲ
シ、指針ヲ示シ、尙ホ關稅デ以テドウシテ
モ保護セナケレバナラスト云フ工業デア
タナラバ、是ハ根本的ニ此問題ヲ考慮シナ
ケレバナラスト問題デアラウト思ヒマス、保
護ヲ必要トスルト云フコトハ、將來保護ノ
要ラナイ時代ガ來ルト云フコトヲ期待シテ
ノ我慢デアラウト考ヘテ居リマス、中島商
工大臣ハ大變強イ御決心デ以テ内地製鐵業
ヲ整理シ、合理化シテ此目的ニ適ハシメル
ト云フ御精神デアリマスルコトハ誠ニ結構
デアリマスルカラ、是以上御尋スルコトハ
尙細目ニ涉テノ御尋デアリマスカラ、是モ
他ノ機會ニ讓リマシテ、私ノ質問ハ是デ一
應打切ルコトト致シマス

○男爵斯波忠三郎君 大體御説明ヲ得マシ

○國務大臣(高橋是清君) 御答イタシマス、

○子爵大河原輝耕君 先程ノ質問ヲ一ツ補

タノデゴザイマスガ、次ニ承テ見タイコ
トガ殘リテ居リマスカラ御許シテ願ヒマス、
宜シウゴザイマスガ、此席ヨリ宜シウゴザ
イマスガ

總ジテ今般ノ稅率ヲ上ボセマシタノハ、第
一番ニ先ヅ爲替相場ト云フモノニ重キヲ置
イタノデアアル、ソレカララトハ矢張り物價
ノ方ニモ考慮ヲシテサウシテ定メタノデア
リマシテ、唯單ニ爲替相場ダケト云フ意味
デアアリマセヌノデアリマス、左様御承知
ヲ願ヒマス

テ置キタイ、先刻商工大臣ノ御答デハ、滿
洲ノコトハ拓務大臣ガ宜シクヤルカラト云
フコトニ伺ッタノデアリマス、私ノ伺ッタ趣
旨ハサウデハナイノデアリマス、滿洲ノ鐵
ノ生産ガ、例ヘバ今ノ三十五萬噸ガ五十萬
噸ニナルカ、六十萬噸ニナルカ、分ラナイ、
斯ウ云フヤウナ事ニナレバ、ソレガ内地ノ
製鐵業ニ影響ヲ及ボシテ來ヤウカラ、滿洲

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマ
ス

○男爵斯波忠三郎君 只今ノ御答辯ニ付キ
マシテハ、是以上御問ハ致シマセヌ、又外
ノ機會ニ讓ルコトニ致シマス、商工大臣ハ

○男爵斯波忠三郎君 只今ノ御答辯ニ付キ
マシテハ、是以上御問ハ致シマセヌ、又外
ノ機會ニ讓ルコトニ致シマス、商工大臣ハ

開キマスル所ノ法案デアリマス、是ハ一日昨日ノ二日間委員會ヲ開キマシテ、規定ノ通りソレト正副委員長ノ選舉ヲ終リ、續イテ質問ヲ致シマシタ譯デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り從來ト雖モ市町村ノ廢置分合ノアリマシタコトハナイデハゴザイマセヌガ、今回御承知ノ通り東京市ニ於キマシテ隣接五郡八十二箇町村が本年ノ十月一日ヨリ合併ニナリマスノデアリマス、此爲ニ從來御承知ノ通り國庫負擔法ニ依リマシテ、町村ノ國庫ヨリ交付ヲ受ケマスル所ノ金額ハ、市ノ受ケマスルヨリモ多イノデアリマス、是ガ今回市ニ編入ニナリマスルヤウナコトニナリマスルト、市ハ當然市ノ受ケマスル所ノ率ニ依リマシテ交付セラレマスルト、其差額ニ於テ夥シイ負擔ヲ増加スルノデアリマス、右様ノ理由ヨリ其負擔ヲ俄ニ激増セシメナイコトト、其他此自治體ノ財政上ノ紛レヲ防ギマスル爲ニ、其緩和ノ目的ヲ以テ此特例ヲ設ケラレタノデアリマス、第一ニ此委員會ニ於キマシテ或委員ノ質問イタシマシタコトハ、此特例ヲ設ケマシタ爲ニ東京市ノ負擔方幾ラ助カルノデアルガ、即チ言ヒ換レバ、特例ガナカタナラバ、無イ時ニハ幾ラデアッタノデアアルカト云フヤウナ問ヒガアリマシタノデアリマス、之ニ對シマシテ政府委員ヨリ從來町村デアリマスルガ故ニ交付サレテ居リマシタ所ノ、所謂負擔法ノ第三條ノ後段ノ交付金ハ九十八万一千三百六十二圓ト斯ウ云フ額ニナテ居リマス、又特別ノ町村ト致シマシ

テ増額交付ヲ受ケテ居リマシタ、負擔法即チ第五條ノ交付金ノ方ハ十萬四千二百十七圓餘ト云フコトニナテ居リマス、從ヒマシテ此東京市ニ今度入リマスル所ノ町村ガ市ト云フ冠ヲ被リマセヌデ、町村ト云フ方ニナテ居リマシタ時ニ、郡ニ居リマシタ時ニ、百八万五千五百七十九圓ト云フモノヲ減ゼテルト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デアリマスルカシテ、只今特例ガアリマセヌト突然東京市ノ負擔ハ斯カル増額ヲ起シマスノデ、今回ノ特例ノ設ケラレマシタ一ツノ例デアリマス、又第二ニ此東京市ノ隣接町村ノ合併ニ伴ヒマシテ、此特別ノ法案ニ依リマシテ交付金ヲ東京市ニ交付シマスル場合ト、交付セナイ場合トニ依リマシテ、關係ノ市町村民ノ負擔ノ様子ハドウ云フヤウニナルカト云フヤウナ質問ニ對シマシテハ、政府委員ヨリノ答ニ依リマスルト、此東京市域ノ擴張ト同時ニ、御承知ノ通り東京市ニハ市郡聯帶ト三部ノ制ニナテ居リマスガ、其三部制ヲ廢止シマス場合ニ於キマシテ、一戸當リノ負擔ガ元ノ東京市ノ市、其方ハ編入前ニ於キマシテハ六十六圓五十九錢六厘、大層細カクアリマスガサウ云フコトニナテ居リマス、編入後ニナリマスルト七十一圓八十三錢四厘ト云フコトニナリマシテ、差引キ五圓二十三錢八厘ト云フモノガ増スノデアリマス、是レ即チ町村ノモノガ新ニ入リマスカラ斯ウ云フ形ニナリマス、又今ノ五郡ノ方ノ合併サレマス八十二箇町村ノ方ノ狀況ヲ見マス

ルト、東京市ニ入リマセヌ前ニ於キマシテハ三十四圓三十四錢八厘、斯ウ云フ負擔ニナテ居リマスルガ東京ノ市域ニ入リマシテ、率ガ同一率ニ計算サレマスルノデ、是ガ編入後ニハ減リマシテ二十九圓七十二錢一厘、即チ差引キ四圓六十二錢六厘ト云フモノハ減ズルノデアリマス、是ハ今回ノ此交付金ノ特別ヲ考慮イタシマセヌ場合デアリマスノデ、若シ此特別ノ法案ガ決定イタシマスルナラバ、此交付金ヲ受ケタルモノト致シマシテ、一戸ノ當リガ先刻申上ゲマシタ六十六圓五十九錢六厘、ソレガ編入後ニ於テモ七十一圓八十三錢四厘ト云フコトヲ申上ゲマシタガ、ソレガ編入後ニ七十圓四十四錢四厘、即チ差引三圓八十錢八厘ト云フ増加ニ止マルノデアリマス、從ヒマシテ此法律案ノ制定ニ依リマシテハ、舊市域ハ一戸當リガ一圓四十三錢ヲ、前ニ計算イタシマシタノヨリハ減ジマシテ、又郡部ノ方ノ八十二箇町村ノ方ニ於キマシテハ編入前ガ三十四圓三十四錢八厘ト申上ゲマシタガ、是ハ編入後ニ於キマシテ二十九圓十錢四厘ト云フコトニ相成リマシテ、差引五圓二十四錢四厘ヲ減少シマス、從テ此法律ノ制定ニ依リマス郡部ハ二段ノ減少ヲセラレマシテ、又更ニ六十一錢七厘ト云フモノヲ減少スルコトニナルノデアリマス、此様ナ答辯ガゴザイマシタ、又次ニ此國庫負擔法ハ元來前ニ申上ゲマシタ通り市ニ輕ク町村ニ重イト云フコトガ精神ニナテ居リマスルノ

交付金ハ暫定的ト思ハレル、是ハ凡ソドノ位マデ續クモノデアアルカ、ト云フヤウナ問ガゴザイマシタ、之ニ對シマシテ政府委員ヨリハ期間ハ大體十箇年トスル、是ハ其間ニ逐次遞減ヲシテ交付金額ヲ定メル、斯ウ云フヤウナ返事デアリマシタ、又或委員ハ此特別ニ交付金ヲ受ケマスル爲ニ、負擔法ノ第四條ノ規定ニ依リマスル特別市ニ對シマスル國庫交付金額ガ増加イタシマシテ、其結果、他ノ町村ノミニニ交付シマスル金額ガソレダケ減少スルヤウニナリハシナイカ、之ヲ避ケルニ付テハドウデアアルカト云フヤウナ問ニ對シマシテハ、政府委員ヨリハ、此法案ニ依リマシテ現在ノ町村ニ交付シマスル國庫支出金ガ減少シマス場合ハ即チ二ツアル、ソレハ國庫負擔法ノ第四條ノ關係ニ付キマシテ特別市ニ對シマスル交付金ガ増加スル場合ト、即チ今ノヤウナ場合、又國庫交付金ノ配當ノ基礎ニナリマスル教員ノ數、又兒童數ノ増加ト云フヤウナ場合ガアリマスノデ、是等ニ對シマシテハ適當ニ斟酌シテ、現在町村ノ受ケテ居ル交付金ニ減少ヲ生ゼシメナイヤウニスル、斯ウ云フ御話ガアリマシタ、然ラバ其適當ニ之ヲ斟酌スルト云フヤウナ御話デアアルガ、之ニ對シテハドウ云フヤウナ計算ニナルカト云フ問ニ對シマシテ、當局ヨリハ、勅令ノ規定ニ之ヲ入レラレマシテ、國庫交付金ノ配當基礎ニナテ居リマスル教員數及就學兒童數等ニ、百分ノ百乃至百分ノ十ヲ乘ズルコトニ依テ之ヲ斟酌スルコトガ

出來ル、斯ウ云フヤウナ御答デアリマシタ、

尙ホ本問題ニ直接ハ關係イタシマセヌデゴ
ザイマスルガ、委員ノ或一人ヨリ此義務教
育國庫負擔ハ全體、全部ヲ負擔セラルベキ
理想ノモノデアル、斯ウ云フコトニ付テ當
局ハ考慮シテ居ルコトハナイカ、又若シ全
部ガムヅカシイトスルナラバ、少クモ教員
俸給タケハ悉ク國庫デ負擔スベキモノデア
ル、之ニ對スル考ヘハ如何、又ツレモ全部
ガムヅカシイトシタナラバ、今マデノ負擔
ノ……今マデノ交付ト致シテモ、ソレヲ特
別會計ニスル所ノ意思アリヤ否ヤ、此ヤウ
ナ點ニ付キマシテ非常ニ御熱心ナル質疑ガ
アリマシタノデアリマス、之ニ對シマシテ
ハ政府委員ニ於カレマシテモ、深ク考慮セ
ラレマシテ十分ナル研究ヲ致シタイト云フ
ヤウナ意味ノ答ガアリマシタ譯デアリマ
ス、是ハ重要ナル質問ト存ジマスルノデ茲
ニ附加ヘマシテ御報告イタシマス、右ノヤ
ウナ次第デ討議ニ移リマシタガ、何等本案
ニ對シマスル異議モゴザイマセズ、採決ニ
至リマシテ滿場一致ヲ以テ本案ヲ原案ニ決
定イタシマシタ次第デアリマス、此段御報
告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會
ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本日古島一雄君
ヨリ病氣ニ付キ、昭和七年法律第一號中改
正法律案外六件特別委員ノ辭任ノ申出ガゴ
ザイマシタ、許可スルコトニ御異存ゴザイ
マセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議
通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本日古島一雄君
ヨリ病氣ニ付キ、昭和七年法律第一號中改
正法律案外六件特別委員ノ辭任ノ申出ガゴ
ザイマシタ、許可スルコトニ御異存ゴザイ
マセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本日古島一雄君
ヨリ病氣ニ付キ、昭和七年法律第一號中改
正法律案外六件特別委員ノ辭任ノ申出ガゴ
ザイマシタ、許可スルコトニ御異存ゴザイ
マセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ議題
ニ供シマス、全部御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議
通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本日古島一雄君
ヨリ病氣ニ付キ、昭和七年法律第一號中改
正法律案外六件特別委員ノ辭任ノ申出ガゴ
ザイマシタ、許可スルコトニ御異存ゴザイ
マセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス、補闕トシテ山上岩二君ヲ指名イタ
シマス、書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス
〔瀬古書記官朗讀〕

本日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ
氏名左ノ如シ

兌換銀行券條例中改正法律案特別委員會

委員長 柏爵林 博太郎君

副委員長 石塚 英藏君

昭和七年法律第一號中改正法律案特別委
員會

委員長 子爵前田 利定君

副委員長 木村清四郎君

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ
本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ
是ニテ散會イタシマス
午後零時二十三分散會

